



花乱れ咲く柏陽

恵庭市立柏陽中学校 校長室から

令和6年6月25日(月)7号

校長 前田 真志

<学び続ける教師>

6月17日(月)、19日(水)に校内研修を行いました。前期中間テスト前で、諸活動停止期間を利用して、本校の研究部が中心となり実施しました。

17日(月)は、北海道教育大学特任講師の佐藤正範様をお迎えしての、ICT教育を進めるための教師の「マインドチェンジ」を行う内容でした。50分間という短い時間でしたが、クロームブックのGoogleスライドを使って「自己紹介」「今の自分の気分を点数でつける」の作業を行ってから、教職員がその回答によりグループ分けをしました。その後、東京都のある小学校の道德の授業を見て、感想を述べ合い、授業の進め方の転換について学びました。

一人一台端末を利用した授業構築はスタンダードであることに、大いに刺激を受けました。今後校内で議論を重ね、授業改革を進めて参りたいと考えます。

また、19日(水)には、本校せせらぎ学級の齊藤里恵主任から、「SST」についてお話しをいただきました。「SSTとは、社会生活を円滑に営むためのスキル」であり、適切な行動が取れない生徒、状況把握ができない生徒、平静を保てない生徒に対して、私たちがどのような手立てをもっていることが必要かという研修内容でした。例えば、特性としては、①暗黙のルールが通用しない、②イメージすることが苦手である(相手の気持ちを考えること)、③行間が読めない、などがあります。そのような場合は、①お手本を示す、②事前に行行動の練習(リハーサル)をする、③良いことを認め本人にフィードバックする、④再リハーサルする、⑤一般化できるための練習を重ねる、のが有効だということでした。特に、通常学級では、①言葉の定義をすること、②パターン化すること、③適切な言動を認めること、④ルールが必要な理由を伝えることが大切だと学びました。これらの要素を含んだ本校の良い実践としては、ヒューマン・コミュニケーション講座、学級レク、休み時間のカードやボードゲームが有効であることも、改めて示してもらいました。最後には、せせらぎ学級で使っているカードゲーム『トーキングカード』や『短所を彫塑に替えたいやきカード』(マイナス言葉をプラス言葉に変換する)などを紹介いただき、職員でも取り組んでみました。

今後も、生徒の成長のために学び続ける機会を大切にしたいと思いました。

<前期中間テストを終える>

6月21日(金)に前期中間テストを終えました。今週からテストが返却されます。日頃の学習の取組を振り返る良いチャンスです。御家庭でも、ぜひお子様とお話してください。

<2年生宿泊学習事前集会>

6月24日(月)の5校時、2年生の宿泊学習事前集会が行われました。昼休みは1年生の体育館使用日でしたが、準備をしている実行委員の姿が大人っぽく見えるほど、この1年間の成長が感じられました。校長挨拶、実行委員長挨拶、各委員長挨拶を皆、真剣に聞いていました。学年主任からは、くれぐれもスマホを持ち込まないように説諭し、学年教師からは、昨年度からの取組の良さが、今回の自主研修に表れているのだから、期待しているよという言葉がかけられていました。気をつけて行ってほしいと思います。

